

# 千年の森便り No.155

2016.06. 24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

6月19日(日) 晴

参加は秋元、新井孝男、新井通子、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、栗山、坂本、田島、中田夫妻と子供たち、成沢、根本、福島、藤川、真鍋、山口、子供4人含む24人。朝一番全員で二ホンジカ調査に続き、グループに分かれてヒメコマツ植栽地の整備、水辺清掃、植物観察・調査、野鳥調査、昆虫調査、ギャップ更新地の整備と植生調査など行いました。(真鍋)



### 〇二ホンジカ生息状況調査

3月の調査から3か月が過ぎ、今日は今年2回目の二ホンジカ生息状況調査を行いました。いつものように、吊り橋の手前で集合し、踏査する7コースの分担を行って、その後、橋を渡って一斉に島へ入りました。

調査は、スタート時間を10時とし、約30分かけて一斉に各コースを踏査しました。結果ですが、今回も目撃や足音、声の確認はありませんでした。また、足跡やフンも今回は確認できませんでした。(福島)

### 〇ヒメコマツ植栽地整備

ヒメコマツの株元を中心に絡んだ蔓、日陰になっているカラスザンショウ、クロモジ、コウヤボウキの徒長枝等々を除去しました。日陰にならない植栽地全体の下草は出来るだけ残すようにしました。

昨年同時期以後2本のヒメコマツが枯死していましたが原因は不明です。またフェンス近くのヒメコマツは、コナラの大木の日陰により生育が阻害されているものがあります。

下刈り除伐班と子供達を含めた搬送班に分かれ効率よい作業が出来ました。お疲れ様でした。植栽地中央部にヤマユリが一本たくさんの蕾を付けています。7月が開花の見頃となりそうです。(根本)



### 〇ギャップ更新地の整備と調査

ギャップ更新地は、「植生調査の結果を踏まえて必要に応じて手を入れること」を原則に掲げているが、これまで具体的な整備は手付かずであった。今回、更新地の半分(C地区、D地区)がアセビに覆われ、他の植生の生育の妨げになっていると見受けられたので、アセビの伐採に着手した。伐採と言っても、地表を覆うように繁茂したものは意外に根が浅く、剪定バサミで一株ずつ丁寧に刈り取らないと、すぐ根が抜けて地表をかく乱したり他の植物を巻き込んでしまう。

中腰で根を詰める作業だったが、10人以上の参加があり、1時間ほど



でだいぶきれいになった。次回は作業しやすい大きさの剪定バサミを用意して、取り組みたい。また、A 地区、B 地区で伸長の目立つ、カラスザンショウ、アカメガシワ、ヌルデなどの早生樹については、萌芽更新のカエデ類などとの競合状況を見極めたうえで手を入れたい。

さらに、昨年から進めている植生調査については、一定のレベルを確保しつつ、調査担当者の負担軽減を図るため、「会員参加を求め、学びながら調査する」方法を試みたが、踏圧の問題などが提起され、再度調査方法を見直すことになった。新たな手法で試験的に 2 地区を実施し、問題点を確認した。新たな調査方法の詳細と見直し、会員への参加呼び掛けは、次号で。（伊藤）



## ○植物観察

スハマソウ北斜面に稀少種の自生が多かった事を思い出し、ニホンジカ調査に急斜面の多い 1 班を志願、1 班+2 班+3 班グループになって、植物ときのこなど探しながらシカを探しました。シカには出会わなかったものの、予想通り沢山の稀少種に出会いました。花終えて実を着けたウメガサソウ、開花待ちのシュスランを確認、スハマソウの北斜面と禁断の岬尾根に近い南斜面にシャクジョウソウの群生 4 か所見つけられました。6 年前禁断の岬南斜面に咲いていたピンクのシャクジョウソウは今年も見当りません。禁断の岬北側崖のヒカゲツツジは生きていました。

シカ調査の後、福島さんとケイワタバコの花見のため禁断の岬南急斜面（崖）を降りました。崖に蕾数十株、内 1 株バッチリ紫の花をつけていました。豊英島初の開花確認に感激！！降下中足を滑らせたが、福島さんに助けられて転落を免れ、無事花を見て這い上がることが出来ました。

巨木林の高木にはイワガラミが花盛りでした。イチヤクソウは花を終え、ギャップ更新林にはオカトラノオが今年も美しく咲いていました。（真鍋）



ウメガサソウ



シャクジョウソウ



崖に自生するケイワタバコ



ケイワタバコの花



オカトラノオ

## ○ツチアケビのモニタリング

春に発芽したツチアケビ 7 株のうち、広場そばの 2 株は開花しましたが、他の 5 株は黒変して枯れています。昆虫や病菌の影響はないか、試料採取し調査をお願いしました。ホームページ掲載の「豊英島のツチアケビ」モニタリング記録の更新はしばらく見送り、8 月以降とします。（真鍋）



ツチアケビの花



枯れたツチアケビ

## ○野鳥記録

キジバト囀り、トビ 4+ 声、コゲラ声、ハシボソガラス声、ハシブトガラス声、ヤマガラ 1+ 声、シジュウカラ声、ツバメ 2、ヒヨドリ声、ウグイス囀り、エナガ声、メジロ囀り、キセキレイ 1、ホオジロ囀り 以上 14 種

トビの雛は無事に巣立ったようで、巣の中は空っぽでした。巣のあった辺りの梢からいつもより甲高いトビの音が頻りに聞こえていました。飛びながら鳴いているのであれば、声のする方向は移動するはずなのに、同じ場所からずっと聞こえていたので巣立ちしたばかりの若鳥が枝に止まって餌をねだっているのかなと思いました。

姿は見ていないので確証はありません。

ホテイ岬でのカワウの繁殖は昨年限りだったようで、今年は巣が見当たらず、19日は親鳥もいません。

(坂本)

## ○昆虫観察記録

ニイニゼミの鳴き声を今年初めて聞いた。晴れてくると鳴き始め、曇ると鳴き止む。樹液が出ている木は昆虫酒場。スズメバチがビュンビュン飛びかっていたが、襲ってくる気配はなかった。毒を持つヒョウモンエダシヤクが、ヒラヒラとよく飛んでいた。



オオツノトンボ

今日の一番人気。トンボとは全く違いウスバカゲロウに近い仲間。お腹を上げるのは何のため？発見は中田夏実嬢。



オオオバポタル

幼虫は朽木で育つ。幼虫、蛹は発光し、羽化直後も光るとのこと。福島さん発見。



スジクワガタ

樹液に来ていた。コクワガタかと思ったが、翅に筋があるので、スジクワガタの小型のオスだろう。



ホシベッコウカギバ

小さなモンシロチョウ？ではなく半透明のきれいな蛾。昼間に飛び、幼虫はヤマボウシなどを食べる。

### (他に観察された昆虫)

コシアキトンボ、モリチャバネゴキブリ、オオゴキブリ、オオカマキリ幼虫、タンザワフキバツタ幼虫、ヒシバツタ sp、ヨコツナサシガメ、アオバハゴロモの幼虫、ヤマトシリアゲ、ヨツボシゴミムシ sp、クロホソナガクチキムシ、ムナビロオオクスイ、ヨツボシケシクスイ、ヒメクロオトシブミ、コガタスズメバチ、キロスズメバチ、ムモンホソアシナガバチ、セグロアシナガバチ、キオビツチバチ、キンケハラナガツチバチ、ウラシマソウハバチ幼虫、ムネアカオオアリ、サキグロムシヒキ、ノコメセダカヨトウ、シロツバメエダシヤク、ハグルマエダシヤク？ カバイロキバガ (田島)

## ○水辺清掃

梅雨の合間の天気恵まれ気持ちのいい千年の森でした。森はもうすっかり夏の装いで緑濃く頭上を覆っていました。いつもどうりの鹿調査はいつもどうり一番ハードな1コース結果変わった痕跡は発見されずそのまま尾根沿いに帰ろうと思いましたが今日の目的の清掃にそのまま変更です。

スタジイ林の湾状になったところでは相変わらずごゴミが集まっていますが今回ポリバケツが3個見つかったことに今までにないことと思いつつ中を見るとなんとポリバケツの中は生活ごみが丁寧にいられていました。流されてきたとも考えられず一度集めたごみそのまま放置されてるとしか考えられない状況に複雑な気持ちです。ゴミの内容はやはり生活ごみと飲料水の空き缶、ちょっとした意識の持ち方で無くすことのできるゴミです。私も意識して決められたルールのゴミ出しをと再認識しました。(鵜沢)



## 6月19日中田ファミリーの千年の森

・私はホテイ岬で大きなゴキブリを見ました。とても大きくてびっくりしました。この森には私の知らない生き物がいっぱいいると思うとワクワクしました。(小3、朱音)

・6月19日はありがとうございました。特に楽しかったのは大きなゴキブリを見たことです。びっくりしました。ほかにはヘビの皮やコクワガタを見られたのが嬉しかったです。午後は父と私の好きなほこら山に行くことができました。(小3、千晴)

・ぼくにとって6月19日の一番よかったできごとは、きのこが見つけれられたことです。最初からキノコがあると思っていたら本当にありました！そのあと皆と離れて道沿いを行ったら、面白いキノコありました！コウタケだと思ったらケロウジでした。(小5、裕士)



→写真：ケロウジ

・クロモジのようじの作り方を教えて下さり、ありがとうございました。とても面白かったです。(中3 夏実)

・前回に引き続き、植物調査に加わらせていただいて勉強になりました。この植物調査は、一度完全に樹木伐採した土地からどのような植物が再生してくるか見るもの。何も植えないのに、100種類以上の植物がすごいスピードで生えてくるのが観察できます。植物のパワーってすごい！！また成長してからの姿と幼いときの姿が全然違うのにも驚きます。こんな調査ができるのも、植物に関して超ベテランのメンバーが沢山いらっしゃるから。私も今から勉強して追いつきたいな、と改めて思いました。将来の目標ができて嬉しいです。なかなか家族のスケジュールが合わず、毎回参加できるわけではないのが残念ですが、今後も継続的に活動に参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。(真也子)

(以下に中田真也子さんのFace book6月19日記事を転載します。画像は一部編集・削除しています。)

日曜日は君津の豊英島「千年の森をつくる会」に家族で参加してきました。静かな森には、何もいないかと思いきや、面白い虫などが沢山！面白いポーズをとるツノトンボ、朽木に住むオオゴキブリ、ヘビの抜け殻・・・何かが発見されると参加者の皆さんで子供のように盛り上がり、観察して出てきた疑問には参加者全員で考える、その雰囲気を楽しんでいます。



## お知らせ

### ○7月の活動日

7月18日(月、海の日)夏のきのこ観察会を実施します。実施要領は「夏のきのこ観察会」(ホームページお知らせに掲載)の通りです。9時30分清和県民の森駐車場集合。参加希望の方は7月10日までに[\[sennenomori@hotmail.co.jp\]](mailto:sennenomori@hotmail.co.jp) ちば千年の森をつくる会あて申し込み下さい。

### ○臨時活動日

定例活動日以外にキノコや動植物調査・観察などのため入林予定の方は、集合場所・時刻・活動内容などを連絡(メール[\[sennenomori@hotmail.co.jp\]](mailto:sennenomori@hotmail.co.jp)又は電話 090-6929-6811(伊藤事務局長))下さい。会員に呼び掛けて、参加希望者を募りますので、出来れば1週間前に。